

平成 20 年 7 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社小田原エンジニアリング  
 代表者名 代表取締役社長 藤澤 和 俊  
 ( J A S D A Q ・ コード 6149 )  
 問合せ先  
 役職・氏名 管理部長代理 榎本龍一郎  
 電話 0465-83-1122

平成 20 年 12 月期中間の特別損失の発生ならびに  
 業績（連結・個別）予想の修正に関するお知らせ

平成20年12月期（平成20年1月1日～平成20年12月31日）の中間期において減損処理に伴う特別損失の発生をお知らせするとともに、平成20年12月期の中間（連結・個別）業績予想について、平成20年2月14日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損失の発生

(1) 特別損失に至る経緯

更なる資産の有効活用を図る目的で、駐車場として利用していた既存取得用地を将来的に売却する方針を決議したため、資産健全化をはかる観点から、次のとおり減損処理を実施いたしました。

(2) 平成 20 年 12 月期の中間期における特別損失の総額

・減損処理の総額 114百万円

2. 平成 20 年 12 月期 中間連結業績予想の修正等

(1) 中間期（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日）

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想 (A)	2,200	300	320	170
今回修正 (B)	2,253	326	454	146
増減額 (B-A)	53	26	134	△24
増 減 率	2.4%	8.7%	41.9%	△14.1%

(2) 修正理由

売上高につきましては、順調に受注が獲得できたため、ほぼ計画どおり 2,253 百万円（当初予想比 53 百万円増）となる見込であります。

経常利益につきましては、順調な売上高と営業利益の確保に加えて、海外投資先からの受取配当金が当初見込比 88 百万円増と大幅に増加したため、454 百万円（当初予想比 134 百万円増）となる見込みです。

中間純利益につきましては、減損処理（114 百万円）を実施したため、146 百万円（当初予想比 24 百万円減）となる見込みです。

(3) ご参考：前期の連結実績（平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
中間期(1/1～6/30)	1,246	51	99	49
通期(1/1～12/31)	3,086	251	322	175

### 3. 平成 20 年 12 月期 中間個別業績予想の修正等

(1) 中間期（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	2,000	250	300	160
今回修正 (B)	2,068	288	428	129
増減額 (B-A)	68	38	128	△31
増減率	3.4%	15.2%	42.7%	△19.4%

(2) 修正理由

中間連結業績予想の修正理由と同じであります。

(3) ご参考：前期の個別実績（平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
中間期(1/1～6/30)	1,161	48	106	53
通期(1/1～12/31)	2,904	213	307	166

### 4. 通期業績予想の修正等

なお、通期（連結・個別）業績予想につきましては、現在検討中でありますため、検討が完了次第、改めてお知らせいたします。

\*上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成しものであるため、実際の業績は今後の様々な要因によっては、予想数値と異なる場合があります。

以上